



ヒカゲツツジ [日陰躑躅]

5本の樹

常緑 / 低木 / 木本植物 / 在来種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

クリーム色の花をつけるツツジ。色合いの珍しさと控えめに咲く姿に人気がある。「ヒカゲ」とはいえ日陰では花付が落ちる。強い日差しを避けた日向から半日陰地を好むため、高木の下などへ効果的な配植ができる。楕円形のやや肉厚の葉は小振りのシャクナゲの表情がある。



葉



花



黄葉



実

Memo

樹名に「ツツジ」がつくが、シャクナゲに近いことから、シャクナゲに分類されることがある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期				■								
🍒	果実	(花後にできる蒴果(さくか)は花殻とともに除去する)											
🍁	紅葉											■	
🌱	施肥	■					■						
✂️	剪定						■						
★：花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)													

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	○	陰
土壌	乾		○		湿
寒さ	強	○			弱
暑さ	強		○		弱
潮風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○		○			

ポイント


淡い黄緑色からクリーム色の花が引き立つように配植するとよい。風通しと水はけよい酸性土壌と、木漏れ日程度の場所が適地。強い暑さや乾燥時には葉を丸めるので、充分灌水するとよい。

剪定

剪定は他の常緑性ツツジ類と同様に、花の終わった直後に刈り込む。新梢の先に早くも翌年の花芽をつけるので、遅れると花が少なくなる。生長が遅く、樹形が自然にまとまるので手間がかからない。

病虫害

夏の高温時に乾燥すると、グンバイムシやハダニが発生し、葉が白っぽく変色しやすい。駆除し充分灌水する。新芽や蕾を食害するベニモンアオリンガが発生することがある。

呼べる蝶  コツバメ・ヒメシジミ・クロシジミ